

# 1. 地域の経済を支える高規格道路

- 全国屈指の工業地域である播磨臨海地域と内陸部の産業拠点をつなぐことにより、移動時間を短縮(生産性を向上)
- 関西圏の外環状道路を補完する道路ネットワークとしても機能し、播磨臨海地域を全国ネットの高速道路網へ接続  
→産業界も、東播磨道の延伸に大きな期待

東播磨道 L=12.1km

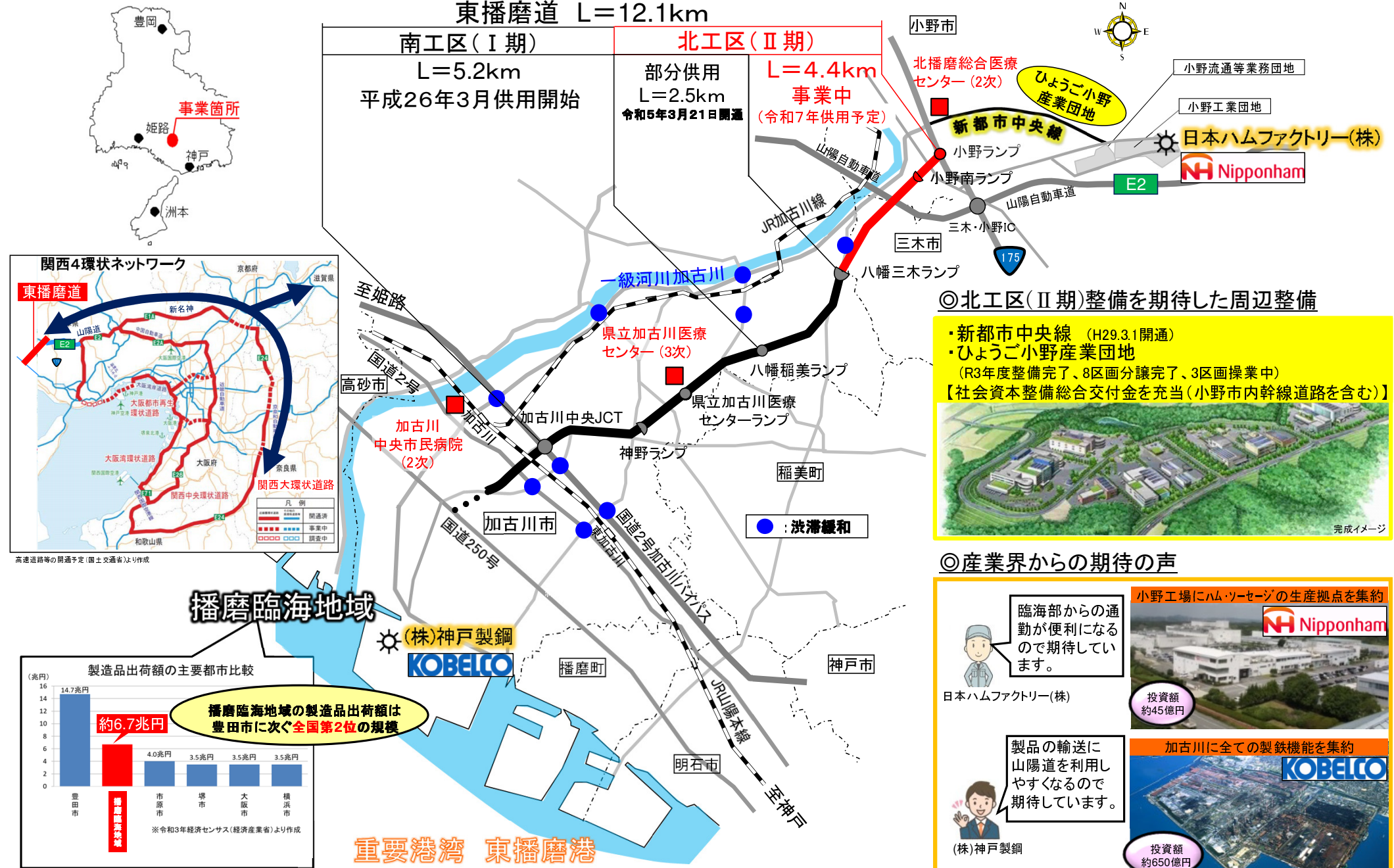
南工区 (I期)

L=5.2km  
平成26年3月供用開始

北工区 (II期)

部分供用  
L=2.5km  
令和5年3月21日開通

L=4.4km  
事業中  
(令和7年供用予定)



## ◎北工区(II期)整備を期待した周辺整備

- ・新都市中央線 (H29.3.1開通)
- ・ひょうご小野産業団地 (R3年度整備完了、8区画分譲完了、3区画操業中)

【社会资本整備総合交付金を充当(小野市内幹線道路を含む)】

完成イメージ

## ◎産業界からの期待の声

臨海部からの通勤が便利になるので期待しています。

日本ハムファクトリー(株)

投資額 約45億円

小野工場にハム・ソーセージの生産拠点を集約

Nipponham

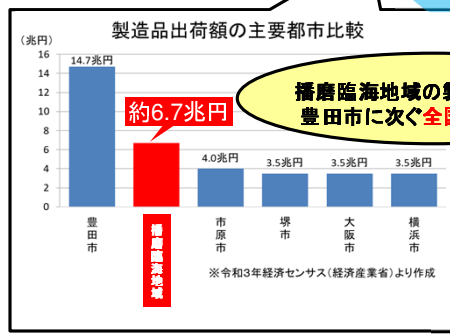
製品の輸送に山陽道を利用しやすくなるので期待しています。

(株)神戸製鋼

投資額 約650億円

加古川に全ての製鉄機能を集約

KOBELCO



## 2. 地域の安全・安心を確保する高規格道路

- 豪雨等による自然災害リスクを回避 →災害時の安定的な道路交通を確保
- 医療施設がネットワーク化(地域の救急医療が充実)

